

留学を終えて

岐阜北高等学校 朝井 陽香（カナダ）

私は幼い頃から海外に興味があり、海外留学に憧れをもっていました。高校生のうちから日本を離れ海外に行くという経験はとても貴重であり、私にたくさんの刺激を与えてくれました。今回の留学を通じて、私は現地の英語を学ぶだけでなく、多くの大切な出会いを得られたと思います。

私はカナダのブリティッシュコロンビア州南西部にあるバーナビーという都市に、2024年8月の終わりと2025年6月いっぱいまで、約10か月間滞在しました。他の留学生の多くは、アジア系やインド系の家族の元にホームステイしていましたが、私のホストファミリーはカナディアンで、現地の英語を身近に感じることができました。家族みんなでディナーを食べ、毎週金曜日に一緒に映画を見るなど、交流する機会がたくさんありました。最初は会話の聞き取りが難しいと感じることが多かったですが、徐々に聞き取れるようになり、自分も会話に参加することが増えたことに喜びを感じました。また、幼い子どもが2人いたため、ハロウィンには一緒に街中を歩きトリックオアトリートと言ってお菓子をもらい、クリスマスにはホストマザーが豪華な料理やたくさんのプレゼントを用意してくれました。日本ではあまり見られませんが、親族みんなで集まってイベントをお祝いしたことは、新鮮で忘れられない経験になりました。ホストファミリーには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

学校は家から徒歩10分ほどの場所にあるバーンクリーク・コミュニティースクールでした。授業はセメスター（前後期）制で、各学期4つの授業を選択できました。セメスター1（前期）では、4つの授業のうち、2つは留学生用のEESクラスを受ける必要がありましたが、学期末のテストに合格したことで、セメスター2（後期）からは4つ全てのクラスを現地の生徒と一緒に受講することができました。とてもうれしかった反面、やはりついていくのが大変でした。特に“Marketing and Promotion 11”は私が最も苦勞したクラスでした。例えば、自分の会社を作って商品を準備して実際に販売したり、クラスメートや先生に会社の方針について発表したりしました。もちろん日本では経験したことがなかったため、初めは不安もありました。しかし、先生や友達に助言をもらい、発表の練習をたくさん重ねるなど、多くの準備をすることで最終的にプロジェクトを成功に導くことができました。その成果もあり、学期末には成績上位2名に与えられる“Excellence in Marketing and Promotion 11”を受賞しました。

日頃の授業以外に、学校の様々なイベントにも積極的に参加しました。特に印象に残っている



のは、ダンスの発表です。私は“Winter CeLeobration”というイベントで、日本人や韓国人留学生と一緒に K-pop ダンスを披露しました。もともと日本でもダンスを習っており、高校のサークルで披露していたのですが、一緒に踊ったみんなのスキルの高さには圧倒されました。特に、最年長である韓国人の友達はダンスの経験が豊富で私たちのフォーメーションを考え、振り付けの細かいところまで丁寧に教えてくれました。彼女のダンスはとても力強く、かつ滑らかで私に刺激を与えてくれました。練習中は英語だけでなく、互いの言語を教え合い、日本語や韓国語を使ってコミュニケーションを取りました。互いを理解し合うことを大切に、チームワークを高め合いながらたくさん練習を重ね、本番では完成度の高い発表をすることができました。このチームで一緒に発表した経験は私にとっての宝物です。

カナダには多くの国から人が集まってきます。留学当初は街で英語以外の言語も飛び交っていることに戸惑いを感じるが多かったです。しかし、様々な国籍の人たちと出会い、友達になることができ、多種多様な文化を体験できました。

この留学を通して、自分の意見を伝えるためにはさらに英語を上達させる必要があることを痛感しました。また異文化に触れ、たくさんの人々と関わったことで、自分の視野が広がったと思います。この経験を「良い思い出だった」と終わらせるのではなく、自分の将来のために活用することができるように、帰国後も努力を続けていきたいと思います。留学という貴重な経験をさせてくれた両親、関わってくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

